

議案第 2 号 令和 8 年度事業計画（案）の件

ケアハウスオパール室蘭

令和 8 年度事業計画書（案）

【 ケアハウスオパール室蘭の理念 】

オパール（OPAL）～（Older People with Active Lifestyles）

利用者様全員が、活動的な人生を送れるために生活の場を全職員で作って行く事を約束します。

1. 運営体制

(1) 利用者数

＜令和 8 年 4 月 1 日の介護度別入所予定数＞

	特 定 施 設								ケアハウス	合 計
	要支援 1	要支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	計	一般入居	
R. 7. 4. 1 入居数	5	9	23	15	9	2	1	64	6	70
R8. 3. 31 現在	8	8	20	18	6	3	1	64	5	69
R8. 4. 1 予定	8	8	20	18	6	3	1	64	6	70

(2) 職員数

＜令和 8 年 4 月 1 日（予定職員数）＞

職 種	施設長	生活相談員	栄養士	看護師	機能訓練	介護職	計画作成	事務職員	清掃員	計
在 籍 数	1 名	1 名	1 名	2 名	1 名	20 名	1 名	1 名	1 名	29 名
内職パート					1 名	4 名			1 名	6 名

2. 基本方針

◆ 理念に基づき利用者様の尊厳を守り、自己決定に基づく生活の自立を支援していく。

【施設運営】

1. 利用者様の個性を大切に公正、公平を旨とし、プライバシーに配慮していく。
2. 職員は利用者様に対し親切丁寧を旨とし、常に相手の立場を理解してその言動には細心の注意を払い、利用者様の安心と信頼を得るよう努める。
3. 職員は、施設内外の設備の保全並びに物資及び冗費の節約に努める。
4. 施設の安全の確保及び清潔に心がけ、住みよい環境づくりに努める。
5. 医療行為はできないが、最後までご本人・ご家族の希望に添えるよう協力支援していく。

【入居者処遇】

1. 利用者様が、生き生き、伸び伸び、笑顔で生活できるように支援する。
2. 利用者様一人ひとりの状態に合った適切な支援を行っていく。
3. 利用者様と職員との信頼関係を作っていくようコミュニケーションや相談等を徹底していく。
4. 利用者様が自主的にレクリエーションに参加できるよう場所の提供や準備を行う。
5. 利用者様の健康管理に十分配慮し、利用者様からの健康相談にも速やかに対応していく。

3. 地域福祉・公益事業の推進

◆ 公益性を有する社会福祉事業として、施設の地域開放などの取組を進める。

1. 町内会の老人クラブへの参加や、必要時は出張し講義等を行っていく。
2. 利用者様の入院・退院にあたり、ご家族が同行できない場合は施設職員が送迎を行う。
3. 管理費（家賃）の額については、施設利用者様の負担軽減につとめた額とする。
4. 自然災害等の有事には、携帯電話の充電・テレビ視聴の場所提供等の場の提供をしていく。

4. 施設運營業務の推進

◆施設管理業務の推進 重点目標

1. 特定利用者の維持・介護度の変更を常に見直し財源の確保をする。
2. 職員の離職者の出ないように多職種と連携をとり相談等を行い人員の確保に努める。
3. 自然災害・感染症発症時は業務継続計画（BCP）を発令し利用者様の安全と健康を守る。

◆入退去者管理業務の推進 重点目標◆

1. 3月1日現在の待機者数 自立2名、要支援2名、要介護0名、合計4名と待機者が少ないが、連絡時には施設見学を積極的に行い、施設からの景観や安全に配慮した造りや暖かい環境、バス停が目前なので外出に便利、看護師が日中は在籍しているので安心できる、入浴は自分で入れる方に対して日曜日以外は提供できることなどをアピールして入所へとつなげる。
2. 在宅のケアマネや老人保健施設、医療相談室などと連携を適時とり入所へとつなげる。

◆給食業務の推進 重点目標 ◆

1. 利用者様の栄養状態を維持し、食事は楽しみのひとつなので、利用者様の意見も取り入れた献立作り、各地方の名物料理などを給食委託業者・栄養士と相談しながら調整していく。
2. 非常災害時に備え利用者様の非常食・水、70名分・3日間分を確保する。

◆介護支援業務の推進 重点目標◆

1. ケアプランに基づき職員間の連携を保ち支援に努める。
2. 生活支援として、衣類や包布の洗濯・乾燥機の無料提供を継続する。
3. ご家族が遠方にいる方は特に気を配り希望に沿った買い物代行支援を行う。
4. 外気浴や散歩の付き添い、花植えや野菜作りの場の提供を行う。
5. カラオケやボランティア団体への寄付の作業の参加の場への誘導を行う。

◆相談業務の推進 重点目標◆

1. 利用者様の話をしっかり傾聴し、理解と尊重することに努める。
2. ご家族との連携においては、面会時にご利用者様の日常の状況報告を行い施設間との情報を共有する。

◆計画作成業務の推進 重点目標◆

1. 本人及び家族の要望を取り入れたケアプランを作成しプランに沿った支援が確実に行えるように努める。
2. 毎月のサービス内容表を作成し、本人、家族に説明し確認していただく。
3. 定期的にサービス担当者会議を開催し、利用者様に関わる多職種の合意形成のための話合いをご家族も含め行いより良い支援につなげる。

◆看護業務の推進 重点目標◆

1. 毎朝の体温測定を行い体調不良の早期発見、早期対応に努め健康の維持を図る。
2. 看護職員が常に管内にいるように配置し健康に関する相談は速やかに対応する。
3. 有償だが、病院の付き添いにも同席し安心して受診できる体制をとる。
4. 定期通院の難しくなった時やご家族の希望時は往診対応への切り替えを調整する。

◆機能訓練業務の推進 重点目標◆

1. 毎朝の体操で上・下肢の機能訓練を20分位かけ、食堂・1階ユニット・2階ユニットと3カ所で行い身体機能の維持を図る。(土曜・日曜日はみんなの体操・ラジオ体操のみ)
2. 身体機能を維持することで、元気で健康的に生活の場オパール室蘭で永く日常生活を送れるよう目指す。

5. 職員会議の実施

◆下記以外に毎朝、申し送りを行い夜勤者の報告や緊急な対応、一日の状況等を共有している。

会議の種類	実施日	議長	記録者	構成員	協議事項
1. 施設運営会議	毎月、月初め	施設長	介護支援課長	施設長、介護支援課長、看護推進課長、介護支援課長補佐・係長、管理課係長	経営・管理に関する諸課題
2. 主任リーダー会議	毎月1回	介護支援課長	持ち回り	各課長、課長補佐、係長	施設運営に関する提言・協議
3. 全体職員会議	毎月第4水曜日	介護支援課長・課長補佐	持ち回り	職員全員	職員の連携意識の向上 施設運営に関する提言・資質向上への共通認識の確立を図る
4. ユニット会議	月に1回以上	介護支援係長	持ち回り	各ユニット職員	ヒヤリハット報告書に基づき協議 各ユニットの情報共有を図る
5. 給食会議	毎月1回	給食係長	持ち回り	施設長、介護支援課長、保健推進課長、給食係長、給食委託業者担当者	給食業務に係る問題点の協議 入居者の栄養管理や給食の内容などの協議
6. 身体拘束廃止取組委員会	3か月毎の開催	介護支援係長	持ち回り	施設長、各課長職、係長看護職	状況に応じ対応 職員の新規採用時、研修開催
7. 感染症及び食中毒の予防及びまん延防止委員会	3か月毎の開催	看護支援課長	持ち回り	施設長、看護職、給食係長、介護支援係長	施設内の衛生管理全般
8. 事故発生防止委員会	必要に応じ開催	介護支援課長	持ち回り	施設長、各課長職、係長看護職	事故報告に基づき協議
9. 業務継続計画委員会 BCP	年2回 年2回、訓練	施設長	持ち回り	全職員	計画書の内容の確認・変更の協議 職員の新規採用時、研修開催

6. 全体行事計画

月	行事内容		健康管理		法定訓練等
	主行事	常設の行事	往診等	予防等	
4		全体懇談会、誕生会、カラオケクラブ、保護猫ボランティア	往診（月2回）・体重測定		防災訓練 BCB 訓練
5	花見ドライブ	全体懇談会、誕生会、カラオケクラブ、保護猫ボランティア	往診（月2回）・体重測定		
6		全体懇談会、誕生会、カラオケクラブ、保護猫ボランティア	往診（月2回）・体重測定		
7		全体懇談会、誕生会、カラオケクラブ、保護猫ボランティア	往診（月2回）・体重測定	入居者職員健康診断	
8	開設記念日 オパール祭	全体懇談会、誕生会、カラオケクラブ、保護猫ボランティア	往診（月2回）・体重測定		
9	敬老会 秋の味覚祭り	全体懇談会、誕生会、カラオケクラブ、保護猫ボランティア	往診（月2回）・体重測定		
10		全体懇談会、誕生会、カラオケクラブ、保護猫ボランティア	往診（月2回）・体重測定		防災訓練 BCB 訓練
11		全体懇談会、誕生会、カラオケクラブ、保護猫ボランティア	往診（月2回）・体重測定	インフルエンザ予防接種	

12	クリスマス会	全体懇談会、誕生会、カラオケクラブ、保護猫ボランティア	往診（月2回）・体重測定	コロナウイルス予防接種	
1	新年会	全体懇談会、誕生会、カラオケクラブ、保護猫ボランティア	往診（月2回）・体重測定	夜勤職員健康診断	
2	節分・豆まき	全体懇談会、誕生会、カラオケクラブ、保護猫ボランティア	往診（月2回）・体重測定		
3	ひな祭り	全体懇談会、誕生会、カラオケクラブ、保護猫ボランティア	往診（月2回）・体重測定		

7. 職員内部研修実施計画

開催予定月	研修内容	担当職員	参加職種
令和8年4月	災害時業務継続研修・訓練	防災管理者	全職種職員
令和8年5月	感染予防・対策研修	感染対策委員会	全職種職員
令和8年6月	接遇研修	外部講師	全職種職員
令和8年7月	個人情報・プライバシー研修	施設長・生活相談員	全職種職員
令和8年8月	身体拘束研修	身体拘束委員会	全職種職員
令和8年9月	ハラスメント対応研修	施設長	全職種職員
令和8年10月	感染症対策研修・BCP 訓練	施設長	全職種職員
令和8年11月	認知症と認知症ケア研修	ケアマネージャー	全職種職員
令和8年12月	緊急時対策対応研修	看護職	全職種職員
令和9年1月	食中毒予防研修	看護職	全職種職員
令和9年2月	高齢者虐待防止研修	身体拘束委員会	全職種職員
令和9年3月	倫理・法令遵守研修	施設長	全職種職員

8. 社会福祉外部研修実施計画

対象職種	研修事業名	研修場所	実施期間	参加締切	研修員
介護職	介護記録の書き方	WEB	5月	5月	数名
	緊急時の介護	札幌市	5月	5月	2名
	介護現場でのコミュニケーション技術	〃	6月	5月	2名
	褥瘡予防について	WEB	7月	6月	数名
	介護職のための医学の基礎知識	札幌市	8月	7月	2名
	サービス提供責任者講習	〃	9月	8月	1名
	認知用の理解～認知症の人への支援に必要な視点～	〃	9月	9月	2名
	薬の基礎知識	〃	10	9月	2名
看護職	感染症対策研修	室蘭	10月	9月	1名
	認知症の人への気づきを学ぶ（事例検討会）	〃	11月	11月	2名
	褥瘡予防について	〃	12月	11月	2名
	事故防止・安全対策	〃	3月	2月	2名
栄養士	食品衛生講習会	室蘭市	9月	7月	1名
法人役員等	施設長専門研修	札幌市	1月	11月	施設長
	全国経費老人ホーム協議会・北海道ブロック大会	札幌市	9月	8月	2名
	介護保険施設研修・専門部会	室蘭市	案内の都度		3名程度
	日胆地区老人福祉施設研修	苫小牧	案内の都度		2名

9. 今後のケアハウスとしての展望について

- ◆ケアハウスとしてオパール室蘭・オパール八丁平と近隣に2施設あり、同じケアハウスではありますが、施設の形態が違います。オパール室蘭は居室内に簡易的なキッチンが備え付けられており、居室も広めに設計されています。トイレも壁で仕切られている居室が50室、部屋の中で行き来できる夫婦部屋も6室あり、ある程度自立された方に適した造りになっています。一方オパール八丁平は全居室がユニット形式であり、車椅子や歩行器を使用しても生活しやすい住環境になっています。
また、機械浴室もあり介護度が高くなっても安心して生活できる造りです。以上のことから、オパール室蘭入居後、手厚い介護支援が必要になった場合にはオパール八丁平への移動も可能な事もアピールしていこうと考えています。
- ◆年々、入居に関する問い合わせや入居申し込みも減少してきているため、今後は積極的な広報活動も視野に入れ、敷金も必要なく低料金で入居できる点をアピールし入居者及び入居希望者の確保に取り組んでいこうと考えています。

議案第 2 号 令和 8 年度事業計画（案）の件

ケアハウスオパール八丁平

令和 8 年度 事業計画書（案）

【 ケアハウスオパール八丁平の理念 】

私たちオパール八丁平職員は、入居者・家族・地域の人々との関わりを大切にすることを信条とし、

- 一、笑顔あふれる 温もりある暮らし
- 二、その人らしい 尊厳ある暮らし
- 三、心ふれ合う 充実した暮らし

の実現を目指します。

1. 運営体制

(1) 利用者数

＜令和 8 年 4 月 1 日の介護度別入所予定数＞

	特 定 施 設								ケアハウス	合 計
	要支援 1	要支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	計	一般入居	
7.4.1入居者数	9	5	23	8	2	2	0	49	1	50
8.3.1現在	8	4	21	8	3	3	0	49	0	48
8.4.1予定	8	4	21	8	3	3	0	48	0	48

(2) 職員数（予定職員数）

＜令和 8 年 4 月 1 日現在在籍数＞

職 種	施設長	生活相談員	栄養士	看護師	機能訓練士	介護職	計画作成	清掃員	計
在 籍 数	1 名	1 名	1 名	2 名	1 名	14 名	1 名	1 名	22 名
内 嘱託・パート					1 名	1 名		1 名	3 名

2. 基本方針

◆ 利用者様の尊厳を守り、安心して心豊かに生活できる場を、利用者様とともに築いていく。

【施設運営】

1. 利用者様の個性を大切に、公正、公平を旨とし、プライバシーに配慮する。
2. 職員は、利用者様及び家族等から信頼されるよう、明るく親切に対応するとともに、日々自己研鑽に励む。
3. ケアハウスオパール八丁平に配属される職員は、互いに連携して利用者様に対し混乱、不安感、違和感を与えないよう配慮する。
4. 施設の安全の確保及び清潔に心がけ、住みよい環境づくりに努める。
5. 各種行事等を通じ、施設と地域との交流を図る。

【入居者処遇】

1. 利用者様が、生き生き、伸び伸び、笑顔で生活できるように支援する。
2. 利用者様一人ひとりの状態に合った適切な支援援助を行っていく。
3. 利用者様と職員との信頼関係を作っていくようコミュニケーションや相談等を徹底していく。
4. 利用者様が各行事等に楽しく参加できるよう、行事内容を工夫していく。
5. 利用者様の健康管理に十分配慮するとともに、健康相談にもしっかりと対応していく。

3. 地域福祉・公益事業の推進

◆ 公益性を有する社会福祉事業として、施設の地域開放などの取組を進める。

1. 地域のボランティア団体や子育てサークル団体などへ、空きスペースや備品を無償で貸し出し、子育て活動を支援する。
2. 利用者様の入院・退院にあたり、家族が随行できない場合、施設職員が送迎を行っていく。
3. 管理費（家賃）の額については、施設利用者の負担軽減につとめた額とする。
4. 災害時には、携帯電話の充電、テレビ視聴の場の提供等、地域の皆様に声掛けをしていく。

4. 施設運営業務の推進

<施設管理業務の推進>

【重点目標】

- 令和8年度も引き続き安定した施設運営を目指すため、特定利用者数50名を目標とし、また介護度の高い利用者様にも入居していただける環境を整え、収入の増加を目指す。
- 施設運営の安定を図るため入居率の向上に努めるとともに、引き続き電気・水道・ガスの効率的・効果的な管理に努め、財務管理の適正化に努める。
- 職員研修を充実し（外部研修・リモートによる研修・内部研修）、利用者様が安心・安全に生活できるサービスを提供できるよう、職員の資質向上に努める。
- インフルエンザなどの感染症について、引き続き北海道の感染症対策マニュアルに沿った対応を基本とし、業務継続計画（BCP）を適切に運用していく。

<入退去者管理業務の推進>

【重点目標】

- 入居希望者・申込者との定期的な電話連絡を実施し信頼関係を築く。
- オパール八丁平は介護サービスに適したユニット型の施設であり、基本的に介護サービスを利用される方（要介護2以上）の入居を進め、介護保険収入の増加を目指す。
- 居室が空きそうな時には速やかに入居希望者へ連絡を取り、空室の日数ができるだけ出ないよう努力し、満室を目指す。
- 地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、医療相談室等と連携を取り、入居希望者の確保に努める。

<給食業務の推進>

【重点目標】

- 利用者様にとって朝・昼・夕の毎日の食事は一番の楽しみであると考え、楽しく・美味しく・安心して食事していただけるよう、利用者様の意見を大切にメニュー作りに努める。そのため、引き続き給食委託業者との給食会議の開催を徹底していく。
- いつもと違ったメニュー（日本各地の郷土料理・海外の料理など）や、利用者様への希望メニューの聞き取り等を行い、喜んでいただけるように工夫する。
- 非常災害時に備え、3日分の非常食の備蓄を準備していく。

<介護支援業務の推進>

【重点目標】

- オパール八丁平に入居して本当に良かったと思われるよう、利用者様・家族の気持ちを大切に、利用者様が楽しく、元気に生活できる場を引き続き提供していくよう全職員で協力する。
- ケアプランを遵守し、利用者様支援にあたることはもちろんのことだが、それ以外にも支援等で気が付いた事があれば、細かい点でも職員間で相談・検討し、よりよい支援内容にできるよう努力する。
- 居室内での転倒事故を防ぐため、日常観察を徹底し、居室内の環境整備や利用者様の小さな変化に気付くことが出来るようにしていく。また、適時事故対策委員会を開催し、再発防止に努める。
- 利用者様に対し、常に優しく笑顔で、丁寧な言葉遣いで接する事を徹底する。

<相談業務の推進>

【重点目標】

- しっかりと傾聴し、理解と尊重することに努める。
- 家族との連携において面会時、常に利用者様の状況報告を行い、家族との連携を密にし、信頼関係を築いていくようにする。

<計画作成業務の推進>

【重点目標】

- 利用者様、ご家族様の思いや願いを大切にしながら、「その人らしい」生活を送るための内容にしていこうと努める。また、その内容に沿ったサービスを提供できるよう、ケアマネジャーを中心に職員間で協力していく。
- ひとり一人の利用者様の状態を丁寧に把握し、実際のサービス内容と介護度のバランスを見極め、明らかに身体機能等の低下が見られる時には、介護度の区分変更申請を行い、安定したサービスの提供に努める。

<看護業務の推進>

【重点目標】

- 体調変化の早期発見、早期対応に努めながら、健康に関する心配事や相談にも丁寧に対応していく。また、看護職員が館内に安定して居る様に、配置等の工夫をしていく。
- 感染対策委員会を中心に、感染症予防を徹底する。

<機能訓練業務の推進>

【重点目標】

- 機能訓練（体操）に積極的ではない利用者様にも興味を持っていただけるような訓練メニューを取り入れていくと共に、日頃の機能訓練で利用者様の身体機能の維持を図る。
- 絵を書く・塗り絵・工作・歌う、天気の良い日には散歩、畑仕事なども取り入れる。

5. 職員会議の実施

- 各会議において、長時間にならないよう、要点を絞って開催し、会議録も毎回必ず作成する。また、各職員から色々な意見が出て来るような会議の雰囲気・内容にしていこう。

会議の種類	実施日	議長	記録者	構成員	協議事項
1. 全体職員会議	毎月第4水曜日	施設長 生活相談員	介護主任 介護リーダー	全職員	職員の連携意識の向上 施設運営に関する提言・資質向上への 共通認識の確立を図る
2. 主任・リーダー 会議	毎月1回	計画作成担当者 介護主任	各職員持ち回り	介護主任、介護リーダー ケアマネ、栄養士	施設運営に関する提言・協議 利用者支援等について
3. 給食会議	毎月1回	栄養士	栄養士	施設長、生活相談員 ケアマネ、介護主任 給食委託業者	給食業務に係る問題点の協議 入居者の栄養管理や給食の内容などの 協議
4. 身体拘束対策委 員会	3か月毎の開催	介護主任	生活相談員 ケアマネ	施設長、介護主任、看護職、 ケアマネ	身体拘束廃止と適正化に関する協議
5. 事故対策委員会	必要に応じ随時	介護主任 生活相談員 ケアマネ	各職員持ち回り	看護職員、介護主任 介護リーダー ケアマネ、生活相談員	事故報告に基づく再発防止に向けた 協議
6. 感染予防対策委 員会	3か月毎の開催	看護職員	看護職員 生活相談員	看護職員、介護主任 介護リーダー ケアマネ、生活相談員	感染症予防に関する協議 感染症発生時の拡大防止に関する協 議
7. 業務継続計画 (BCP) 対策委員 会	年2回	施設長	生活相談員	全職員	業務継続計画の訓練、見直し

6. 全体行事計画

月	行事内容		健康管理		法定訓練等
	主行事	常設の行事	往診等	予防等	
4		全体懇談会、誕生会、カラオケクラブ、映画上映会	往診（月1回）・体重測定		
5	花見ドライブ	全体懇談会、誕生会、カラオケクラブ、映画上映会	往診（月1回）・体重測定		
6	異世代交流会 （室蘭養護学校）	全体懇談会、誕生会、カラオケクラブ、映画上映会	往診（月1回）・体重測定	入居者職員健康診断	避難訓練
7	七夕会	全体懇談会、誕生会、カラオケクラブ、映画上映会	往診（月1回）・体重測定		
8	オパール祭 開設記念日	全体懇談会、誕生会、カラオケクラブ、映画上映会	往診（月1回）・体重測定		
9	敬老会 秋の味覚祭り	全体懇談会、誕生会、カラオケクラブ、映画上映会	往診（月1回）・体重測定		
10	焼き芋会	全体懇談会、誕生会、カラオケクラブ、映画上映会	往診（月1回）・体重測定		
11		全体懇談会、誕生会、カラオケクラブ、映画上映会	往診（月1回）・体重測定	インフルエンザ予防接種 新型コロナウイルス予防接種	
12	クリスマス会	全体懇談会、誕生会、カラオケクラブ、映画上映会	往診（月1回）・体重測定		避難訓練
1	新年会	全体懇談会、誕生会、カラオケクラブ、映画上映会	往診（月1回）・体重測定	夜勤職員健康診断	
2	節分・豆まき	全体懇談会、誕生会、カラオケクラブ、映画上映会	往診（月1回）・体重測定		
3	ひな祭り	全体懇談会、誕生会、カラオケクラブ、映画上映会	往診（月1回）・体重測定		

7. 令和8年度 職員内部研修実施計画予定

開催予定月	研修内容	担当職員	参加職種
令和8年4月	倫理、法令順守、プライバシー保護研修	施設長	全職種職員
令和8年5月	緊急時対応研修	看護職員	全職種職員
令和8年6月	B C P研修（災害）	施設長	全職種職員
令和8年7月	食中毒予防研修	看護職員	全職種職員
令和8年8月	認知症、認知症ケア研修	ケアマネージャー	全職種職員
令和8年9月	非常災害時対応研修	防火管理者	全職種職員
令和8年10月	感染症予防研修	看護職員	全職種職員
令和8年11月	介護技術研修	介護主任	全職種職員
令和8年12月	B C P研修（感染症）	施設長	全職種職員
令和9年1月	高齢者虐待防止研修	ケアマネージャー	全職種職員
令和9年2月	身体拘束研修	介護主任	全職種職員
令和9年3月	介護予防研修	介護主任	全職種職員

8. 令和8年度社会福祉外部研修実施計画予定

対象職種	研修事業名	研修場所	実施期間	参加締切	研修員
介護職	介護記録の書き方	WEB開催	5月	5月	数名
	緊急時の介護	札幌市	5月	5月	1名
	介護現場でのコミュニケーション技術	〃	6月	5月	1名
	褥瘡予防について	WEB開催	7月	6月	数名
	介護職のための医学の基礎知識	札幌市	8月	7月	1名
	サービス提供責任者講習	〃	9月	8月	1名
	認知症の理解～認知症の人への支援に必要な視点～	〃	9月	9月	1名
	薬の基礎知識	〃	10月	9月	1名
	認知症の人への気づきを学ぶ（事例検討会）	〃	11月	11月	1名
看護師	看護師専門研修	札幌市	8月	6月	1名
	感染症予防研修	室蘭市	10月	9月	2名
栄養士	食品衛生講習会	室蘭市	9月	7月	1名
法人役員等	施設長専門研修	札幌市	1月	11月	施設長
	全国軽費老人ホーム協議会・北海道ブロック大会	札幌市	9月	8月	2名
	介護保険施設研修・専門部会	室蘭市	案内の都度		3名程度
	日胆地区老人福祉施設研修	苫小牧市	案内の都度		2名

9. 今後のケアハウスとしての展望について

- ・ケアハウスとしてオパール室蘭・オパール八丁平と近隣に2施設あり、同じケアハウスではありますが施設形態が違います。オパール室蘭は居室内に簡易的なキッチンが備え付けられており、また居室も広めに設計されています。トイレにドアもついており、ある程度自立された方に適した造りになっています。一方、オパール八丁平は全居室がユニット形式であり、廊下や食堂も広めで車いすや歩行器を使用しても生活しやすい住環境になっています。
また、機械浴室等もあり、介護度が高くなっても安心して生活できる造りです。以上のことから、オパール室蘭に入居後、手厚い介護支援が必要になった場合にはオパール八丁平への入居も可能になることなどのアピールもしていこうと考えています。
- ・年々入居に関する問い合わせや、入居申し込みが減少してきているため、今後は積極的な広報活動も視野に入れ、入居者及び入居希望者の確保に取り組んでいきたいと考えています。